

第7章 河川空間の状況

7 - 1 河川敷等の利用

常願寺川は、広大な高水敷を形成しているが、利用は限られた地区のみとなっている。天井川解消のために行われた河道掘削の土砂置場であった常願寺川公園は、運動公園、憩いの広場、散策通路、馬術公園等を整備し、県民の憩いの場として利用されている。

上滝下流の殿様林緑地公園においては、毎年、全国少年サッカー大会が開催され、また夏季には、上滝床固付近ではキャンプや水遊びをする家族連れが多くみられる。



図 7-1 主な河川公園位置図

出典：富山河川国道事務所資料

7 - 2 河川の利用状況

常願寺川の河川区域内面積は 10,282 千㎡であり、河川空間利用場所は高水敷が最も多く、主に河川公園でスポーツや散策等に利用されている。

常願寺川の高水敷は 6k～10k（左右岸）、0k～3k（左岸）付近に分布するが、全般的に低水路との境界が不明瞭である。河川敷地の占有状況は公園・緑地、運動場が 73.9%を占めており、その他は田畑として利用されている。

常願寺川の年間河川空間利用者数は約 51 万人と推定されている。沿江市町村人口からみた年間利用回数は一人当たり約 1.2 回で、利用形態はスポーツが最も多く 44%を占め、次いで散策等の 43%となっている。残りの 9%は水遊びで、釣りは 3%と少ない。常願寺川は上中流域の流量が少なく、生息魚が少ないため釣りを楽しむ人は他の河川と比べて少ない状況となっている。

利用場所としては、高水敷利用が 70%以上の大部分を占めている。

H17.4.1 市町村合併前の市町村

表 7-1 常願寺川における年間の河川空間利用状況

区分	項目	年間推定値 (千人)	年間利用割合 (%)
利用形態別	スポーツ	224	44.0
	水遊び	48	9.4
	釣り	17	3.3
	散策等	220	43.2
	合計	509	100
利用場所別	水面	41	8.1
	水際	23	4.5
	高水敷	366	71.9
	堤防	79	15.5
	合計	509	100

平成 12 年度

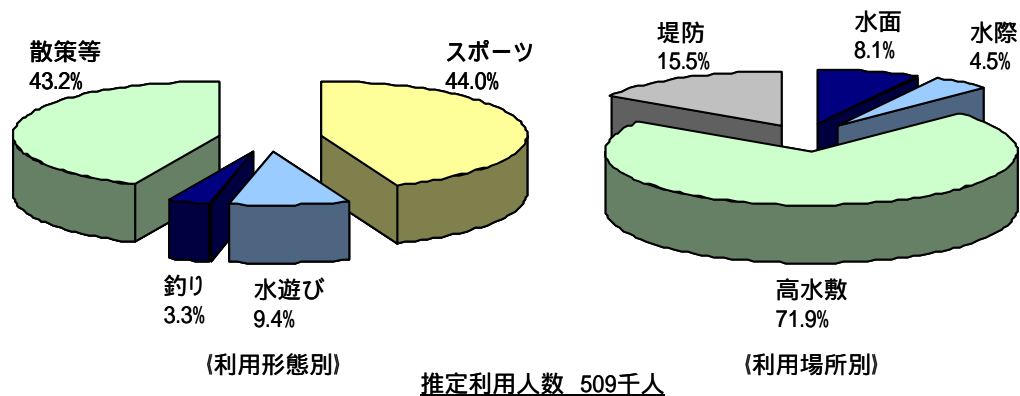


図 7-2 河川利用形態別割合